

PROGRAM NOTE

1995

近藤譲：冬の間

ヴァイオリン、トランペットとピアノのための

Durante l'inverno

for Violin, Trumpet and Piano

ヴァイオリン、トランペットとピアノという編成の三重奏のために 1995 年に書かれたこの《冬の間》は、やはり同じ年に、異なる編成の三重奏のために書かれた《ウィンゼン・ダンスステップ》(フルート、ギター、ヴィブラフォン)の姉妹作である。即ち、両者は、基本的に一つの同じアイデアに基づいて作曲されており、ダンスのようなリズム的な性格を共有している。同一のアイデアも、それが非常に異なった楽器編成に適用されると、結果としてそこに生まれる音楽は互いにかなり異なったものになる。それが、これらの作品の作曲に当たっての私の関心事だった。

近藤譲

初演：1995年12月 (東京)

初演者：佐藤まどか(ヴァイオリン) 曾我部清典(トランペット) 加藤昌則(ピアノ)

委嘱：「現在形の音楽」

出版：University of York Music Press (UK)

録音：ALCD-50

演奏時間：8分